



実中新聞

校訓

努力 協同 自律

2月号



海陽町立実中中学校
2026.2.20

【学校教育目標】 夢や目標を持ち、人間性豊かで実践力と忍耐力のある生徒の育成
 【めざす生徒】 自律的な生徒 協力する生徒 努力する生徒
 【めざす教師】 生徒と共に伸びていく教職員集団

海陽町まるわかり検定 事前学習



1月14日(水)に「海陽町まるわかり検定」に向けての現地見学を実施しました。

2校時に自分たちでお弁当を作り、3校時より学校を出発し、海南地区の名所を巡りました。



今年度の「海陽町まるわかり検定」は観光編で、生徒たちは海南地区のことはあまり知らないと思い、現地で実際に見てそれぞれに説明できるように、視覚的効果を含めた対策として取り組みました。



学校→轟の滝→城満寺→浪切不動尊→大砂(昼食)→鯖大師→浅川天神社→まぜのおか→海老ヶ池→えのきの板根→大里八幡神社→海部川河口→妙見山→やっこそう北限→学校のコースで回り、途中滝

に虹がかかっている景色にも出会い、思い出に残る活動となりました。

課題を見つけ 解決しようとする 習慣を!

今の状況を乗り越えるための努力や新しいスキルを身につけることもとても重要なことです。生じた課題をすべて解決できるようになるというのは難しいかもしれませんが、**いくつかの課題を解決しようとする過程が自分の成長へとつながるものです。**

多くのことを学び、失敗も重ねながら挑戦する気持ちを持ち続けることがとても大切です。学ぶ機会を自分で見つけ出し、挑戦することは、自分を高める基本的な活動だといえます。



オリンピックより



日本スノボ界で女子初の金メダリストとなった村瀬心柊さん(21歳)

中継局のインタビューでは「いやあ……現実じゃないんか?夢見てんじゃないか?ってくらい、ものすごく嬉しくて。最後まであ

きらめずに大会に挑めてよかった」と喜びを口に、最後は「寒いのにありがとうございました」とインタビューを気遣った。

13歳で冬季Xゲームで優勝した7カ月後の練習中に右膝蓋(しつがい)骨を粉碎骨折する大けがに見舞われ、競技生活から長期間離れる試練や苦労を乗り越えてきた精神力も見事である。(Yahooニュースより引用)

自分の感情を素直に言葉で表現する様子にとっても好感がもてたと同時に、周りへの細やかな気遣いができる姿に更に感動を与えてもらった瞬間でした。

DFC国際大会出場



11月27日~30日に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、1年生の井上咲藍さんが出場しました。

世界71カ国で連携して展開しているDesign for Changeでは年に一度、

プロジェクトを実施した子どもたちが集結するイベント”Be the Change Celebration”が毎年開催されています。

2025年は日本開催で、東京に31カ国からチェンジメーカーの子どもたちが来日しました。気候変動、メンタルヘルス、不平等といった様々な世界規模の課題に取り組む中、海陽チームは8月にマリンジャムで開催されたBlue Projectを発表しました。

Blue Projectとは、「海を愛する次世代のためのアクション」をテーマに集まった6名の参加者による研究で、海が抱える問題や気候変動などの現状を踏まえ、人と自然の関わり方を一人ひとりが自分ごととして捉えるためにどんな方法があるか、参加者全員でアイデアを出し合い、実現可能かどうかを話し合ったものでした。

第3回学校運営協議会

2月18日(水)に第3回学校運営協議会(宍喰の子どもを語る会)を19時から宍喰小学校にて実施いたしました。

今年度の活動状況の報告で、特色ある取組として
 ①小中合同教育活動 ②地域との連携
 ③地域公開行事 ④連携した指導体制
 の4つに分類して説明させていただきました。



第3回学校運営協議会の様子



学校関係者評価アンケートに関する意見では、昨年に引き続き、教育環境についてはとてもよく整備されており、「タブレット端末の活用やワイドの追加導入で授業が充実してきているのではないかと」の声もいただきました。

課題とされていた挨拶に関することは「中学生から積極的に挨拶をしてくれる場面が増えてきた」とのご意見もありました。

「宍喰地区では、保・小・中がうまく連携し、様々な活動を協力しながら実践してくれている。説明の中の写真の姿を見ても、とても大事な力がその活動を通して培われていることが垣間見える。ぜひ、継続してお願いします」と励ましのお言葉もいただきました。

また、「今年度はどの校種も高齢者との関わりがあったみたいですが、次年度は婦人会との活動もぜひ取り入れてほしい」などの要望もありました。行事を増やすのは難しいので、現在ある活動に組み合わせながら、実施を検討していく方向で、今年度のコミュニティ・スクールを終えました。

生徒会本部役員&人権委員会あいさつ運動



生徒会活動のひとつとして、本部役員は金曜日、人権委員会は月曜日に正門前や生徒玄関であいさつ運動を行っています。



あいさつの率先垂範と「元気なあいさつを自分から」「衣服の調節をしっかりとしよう」「十字路は一時停止をしてから進もう!」「他の人のために学校のために自分にできること、すべきことを考えよう」などのメッセージボード

を持って頑張っています。

基礎学力テストの結果をふまえて

ご家庭での話し合いのポイント!

- 勉強時間はどれだけ確保できていたか。
- 高校進学をどう考えていくか。
- 自分の行動や性格、自分のやりたいこと、学習の興味や関心。

*テレビ番組、新聞、書籍、インターネット、身近な人からの話など、さまざまな人の生き方や社会の情報からでもいいので、将来について少しお子様との話し合いの時間をとっていただきたいと思います。

どうぞよろしくお願ひいたします。

お子様の願いや希望をしっかりと受け止めていただければありがたいです。

3年生はラストスパート!



公立高校一般選抜まであと2週間足らずとなりました。受検勉強もすでに朝型に切り替え頑張っていることと思います。

最後までしっかりと勉強に取り組むことが最も重要ですが、受検に打ち勝つ体力も必要です。しっかりと栄養を摂り、睡眠も十分とるなど健康面にも気をつけながら、本番に向けて準備していきましょう!